

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 家庭的な雰囲気の中「ふつうに、くらせる、しあわせ」を念頭に置き、その理念を共有して実践に取り組んでいる | 事業所独自の理念を掲げ、理念の実践ができるよう、職員会議で確認し、ご利用者のケアプランの検討に活かせるようにしています。 | 定期的に理念を確認する機会を設け、職員に理念の浸透ができるよう検討されることを期待します。 |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | ボランティアや中学生の職場体験の受け入れを行っている。散歩などで近隣の方と挨拶などを交わしている | フラグランスのボランティアに来ていただいたり、中学生の体験学習を受け入れたり、地域の防災訓練にも参加するなど、地域との交流が心がけられています。 | 小学校や保育園とも交流の機会を持つよう、検討される事を期待します。 |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議で認知症の対応や症例を伝える機会をもうけた | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価の改善事項の進捗状況や実践の取り組みなどを報告し、意見を聞いている | 運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、ご家族代表、地域包括支援センター職員、民生委員から出席してもらっています。参加者へ事業所の状況報告を行い、会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。 | 町内会長にも運営推進会議に参加して頂けるよう、対応を検討される事を期待します。 |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 定期的な連携はないが、必要時は連絡をしたりしている | 地域包括支援センター職員には運営推進会議にも参加していただいております。アドバイス頂いているほか、困難事例の相談や不明な点について連絡を取り連携が図られています。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 会議などでは安易に行動の抑制にならない方法を検討している。玄関も夜間帯以外は常時開放されている | 事業所にて身体拘束についての研修を行い周知徹底をしているほか、言葉の遣い方についても職員会議で指導を検討するなど、身体拘束をしないケアを実践しています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-------|--|---|--|-------------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | (5-2) | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体面だけでなく、言葉使いなどにも気をつけるように行っている | 身体拘束研修と同じく、事業所にて虐待防止についての研修を行い周知徹底しており、虐待の防止に努めています。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在2名が後見人制度を利用している。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 利用時に管理者が説明を行っている。契約書の内容一緒に確認しながら、説明を進めるようにしている | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱の設置や運営推進会議での意見交換を行っている。また、面会などでは、近況報告などを積極的にしている | 運営推進会議の場だけでなく、面会時や電話連絡の際などに気付いたことや要望は無いか確認しています。また、定期的にご家族にアンケートを送り、意見・要望の確認を行っています。 | ご家族が集まる機会を検討し、交流の機会として開催される事を期待します。 |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1回の全体会議を設け、意見・要望などを聞き反映できるように努めている | 日常の業務の中で職員から改善提案があれば、毎月の全体会議やユニット会議の場で職員同士で検討が行われ、改善されています。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年2回の評価により、向上心を養えるようになっている | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の不安に思っている内容を内部研修で行うようにしている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 今年度は、他のホームと交流の機会を作ることができなかった | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前訪問を行い、本人の状態確認と合わせて家族や担当ケアマネ、サービス事業所などからも幅広く情報を集めている | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族等と話を積極的におこなっている。その上で、入居後も一緒に支えていけるように協力を求めている | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 事前訪問の段階で、集めた情報をもとにグループホームが適切かも含め、判定をしている | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 一緒に調理をしたり、買い物へ出かけたりしている。 | | |
| 19 | (7-2) | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 受診を家族対応とすることで、本人の状態を家族とホームとで共有することができている | 事業所広報を月に1度送付しているほか、ご利用者の生活の様子や身体状態の様子をまとめお送りしています。日頃からよくご家族とコミュニケーションが取れており、受診・外出・外食の支援もご家族の協力をいただくなど、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。 | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 知人や友人の面会時などには、ゆっくりと話をできるように努めている | ご家族の支援のもと、買い物や外食、馴染みの美容室へ出かけたり、お盆に自宅に帰られたりと今までの関係継続支援に努めています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|-------|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士が居室を行き来したりしている。また、みんなで作業やレクリエーションをおこない、孤立する方が出ないように努めている | | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要があれば、相談や支援を行える体制は整えてある。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常の会話や行動、表情や家族からの情報をもとに、本人の希望を把握するように努め、ユニット会議などで話し合っている | 日々のケアの中での表情や会話の中から思いの把握が行われており、その情報は職員会議の場で連絡され、ケアプランの検討に活かされています。 | |
| 24 | (9-2) | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族や知人から情報を集めたり、本人が言っていた内容を確認したりして、ケア内容の参考にしている | 契約時にご本人やご家族からの聞き取りにてこれまでの暮らしの把握が行われ、ご本人の生活歴や嗜好を確認しています。 | 定期的にあセスメントシートを更新する機会を設け、職員間でも情報の共有ができるよう検討される事を期待します。 |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ケース記録・申し送り・連絡ノートを活用し情報の共有を図っている | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 収集した情報や本人・家族の希望をもとに、介護計画を立て、確認の印鑑をもらっている | モニタリングは職員にも行ってもらい、3ヵ月～4ヶ月毎の短期目標を決定しています。 | プランの作成にも職員に関わってもらえるよう検討される事を期待します。 |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や体調の変化、気づきなどはケース記録に記入し職員間で共有できている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|--------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 受診は家族での対応が原則だが、家族の状態や本人の状況に合わせてホームで対応している。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 市で行われている紙おむつの支給サービスや寝具丸洗い乾燥サービスなども利用している | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の継続を原則としているが、本人や家族の希望により近隣の医院へ主治医をお願いするなどの対応をとっている。また、受診時にはバイタル表や状態報告の書面を渡すなどしている | かかりつけ医はご本人の希望するかかりつけ医となっており、受診時は原則ご家族が付き添いますが、必要に応じ職員が同行し、医師との状況の確認が行われているほか、ご利用者の情報をまとめた書類を渡すなどの情報提供も行っています。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護職の配置は行っていない。必要時にかかりつけ医院に連絡をとっている | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先へは情報提供書を渡している。また、折を見て入院先に訪問し、本人及び治療の情報の確認をし、ホームの受け入れ態勢なども説明している | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現在、見取りのケアは行っていない。問合せ時や入居時などに説明をしている | 契約段階で管理者はホームの方針を伝えていきます。ご利用者の状態に応じて話し合いの場を持ち、ご利用者・ご家族の意向を確認し、ホームでできることを伝え、主治医とも連携し支援しています。 | |
| 34 | (12-2) | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的な救急法の講習を実施している | 毎年1回は消防署職員よりAEDの使用や心肺蘇生の講習を受けており、急変時に適切な初期対応ができるようにしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的な避難訓練を実施している。また、災害時用の対応も全体会議で検討し、統一を図っている | 定期的に夜間を想定した避難訓練を行なっています。しかし、避難訓練には地域の方の参加は無く、非常食の確保もされていませんでした。 | 非常食の準備や、地域の方にも避難訓練に参加して頂けるよう声掛けし、災害時に適切な対応をとれるように検討されることを期待します。 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 居室へ入る際のノックや挨拶、否定しない会話の受け答えなどに努めている | 言葉かけ等が馴れ合いにならないよう、ご本人の人格を重視したケアが行えるように職員会議の場等で徹底されています。また、広報への写真の掲載についてもすべてのご利用者に確認を得ています。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | スタッフの一方的な決定にならないよう、利用者に合わせた声掛けで、利用者自身が選べる環境を作るように心掛けている | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 外出の希望や入浴など、できる限り希望に添えるよう対応している | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 新しい服など購入する時は、本人と一緒に買い物に行けるようにしている | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 下ごしらえ・盛り付け・配膳・いただきますの号令など、利用者には役割を持ってもらっている。同じテーブルで食事をしてひと時を楽しめるよう努めている | ご利用者の能力に応じて調理や後片付けも行ってもらっています。また、事業所の畑でもきゅうりやなすなどの野菜をつくっており、ご利用者の楽しみとなっています。月に1度は外食の機会を持ち、ファミリーレストランや回転ずしなどにご利用者と出かけています。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個々の状態に合わせて、自助具の使用やゼリー状の水分の提供を行っている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自力で歯磨きができる方にも、仕上げ指導を行っている。 | | |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | パターンを掴む為に排泄チェック表を使用している。個々に合わせた時間でのトイレ誘導もしている | ご利用者全員に排便チェックを行ない、一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしています。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 十分な水分摂取に加え、散歩やラジオ体操で運動の機会を確保している。便秘時には主治医と相談し薬の使用の相談も行っている | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 2日に1回の入浴を行っている。皮膚疾患などの方には連日の入浴など状態に合わせた対応をしている | ご利用者の希望に添った時間帯に合わせて入浴支援しています。ご家族と一緒に日帰り温泉に行かれて入浴を楽しむこともありました。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の活動量を増やし、夜間スムーズに就寝できるように取り組んでいる。眠れない場合は、お茶をだしたり、話をしたりし安心感を持てるように対応している | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋はいつでも確認できるように、ファイルにまとめて取り出しやすい場所に置いている | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | テレビ視聴が好きな方、塗り絵が好きな方、お手伝いが好きな方など個々に合わせて対応をしている。月に1回の行事での外出もおこなっている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 1日1回の外出を目標に、散歩や買い物などで機会をもうけている。車椅子の方も積極的に出れるように支援している | ご利用者と一緒に近くのスーパーに食材の買物に出かけたり、散歩へ一緒に行ったりもしています。また季節に合わせたお花見や、はす見学、菊祭りなどのイベントとしての外出も実施しています。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現金は事務所で管理を行っているが、希望者や持っていることで安心感を得られる方には、家族に協力いただき小額の現金を持てるようにしている | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があればおこなえる体勢はあるが、現在は希望する利用者はいない。また、遠方の方よりプレゼントなどが届いた際には、お礼の電話をかけられるように声掛けをおこなっている | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関には季節感のある飾りをしている。ホール内ではその月ごとにカレンダーを作成し、季節に応じた物を飾っている。 | 居間と食堂、オープンキッチンがワンフロアとなっています。テレビを囲むようにソファがありカラオケを楽しんだり、テーブルでは料理の準備やタオルたたみも行われています。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用空間内で、他者から影になれるような場所はないが、ソファを設置しており、1人で新聞を読んだり、くつろげるスペースとなっている | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使っていた品を持ち込んでもらうように協力してもらっている。本人の好きな壁掛けや仏壇なども置いてもらっている | 居室には、ベッドやテレビ、机など、自宅から持ち込んでもらっています。また、ホームでの写真やご家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者に合わせて、居室入口に目印となる飾りを置くなどしている。 | | |